

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
次世代海洋資源調査技術推進委員会(第10回)
議事要旨

1. 日 時：平成28年12月26日(月) 13:00-14:30

2. 場 所：中央合同庁舎8号館6階 共用623特別会議室

3. 出席者：(敬称略)

(総合科学技術・イノベーション会議)

久間 和生 常勤議員、SIP ガバニングボード議長

(内閣府) 松本 英三 大臣官房審議官

(議長) 浦辺 徹郎 プログラムディレクター(PD)

(PD 代行) 石井 正一 石油資源開発(株) 代表取締役副社長執行役員

(PD 代理) 浦 環 九州工業大学社会ロボット具現化センター センター長 特別教授

(サブ PD) 辻本 崇史 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事

堀田 平 国立研究開発法人海洋研究開発機構 特任参事

(関係省庁) 堀田 継匡 内閣官房総合海洋政策本部事務局 内閣参事官

新田 隆夫 総務省情報通信国際戦略局 宇宙通信政策課 課長

林 孝浩 文部科学省研究開発局海洋地球課 課長

辻本 圭助 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部鉱物資源課 課長

川村 竜児 国土交通省海事局海洋・環境政策課技術企画室 室長

田中 知足 国土交通省港湾局海洋・環境課 海洋利用開発室長(代理出席)

太田 志津子 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室 室長

(実施機関) 池原 研 国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター研究戦略部 研究企画室 首席研究員

片山 昭 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹

門脇 直人 国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター センター長

河地 正伸 国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生物資源保存研究推進室 室長

木川 栄一 国立研究開発法人海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発 PT プロジェクト長

田村 兼吉 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 研究統括監

(管理法人) 菊田 宏之 国立研究開発法人海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発 PT 企画調整ユニットリーダー

4. 議事

(1) 統合海洋資源調査システム検証航海報告

(2) 年度末評価および平成29年度計画について

(3) その他連絡事項

5. 配付資料【非公開】

資料 1-1 : 統合海洋資源調査システム進捗全体概要

資料 1-2 : AUV複数同時運用による海洋調査の実現に向けて

資料 2-1 : 年度末評価および平成 29 年度計画について

資料 2-2 : プログラムディレクターによる自己点検表

参考 1 : SIP 次世代海洋資源調査技術 推進委員会 構成員名簿

参考 2 : SIP 次世代海洋資源調査技術 推進委員会 (第 9 回) 議事概要

参考 3 : SIP 次世代海洋資源調査技術シンポジウム (12/19) 開催報告

参考 4 : 産業化方策助言会議について

6. 議事要旨

議事に先立ち、浦辺 PD から挨拶があった。

続いて、久間議員から挨拶があった。要点は以下の通り。

- ・SIP では、基礎研究のみではなく知財化、標準化、制度改革等にも取り組むべき。そのうえで、産業競争力強化や新事業創出をしてほしい。
- ・課題毎の投資額に見合った社会的利益を期待している。
- ・SIP 期間終了後のビジョンをアウトプットとともに示してほしい。
- ・平成 27 年 4 月から第 5 期科学技術基本計画が始まり、Society 5.0 に向けたシステム開発等が重点化されることになった。SIP 各課題においても Society 5.0 への対応をお願いする。

(1) 統合海洋資源調査システム検証航海報告

資料1-1に基づき堀田サブ PD から、資料1-2に基づき浦 PD 代理から説明があった。

(2) 年度末評価および平成 29 年度計画について

資料2-1および資料2-2に基づき、浦辺 PD から説明があった。

(3) その他連絡事項

内閣府大洞企画官から今後の予定について説明があった。

- ・2月上旬に予算枠が確定予定、その後具体的な H29 研究開発計画を作成する。

最後に、石井 PD 代行の挨拶により、閉会した。

以上